

西部図書館発 — 2011年を振り返って—

平成23年3月11日の東日本大震災から1年が経過しました。東北地方各県の被害は甚大なものとなり、福島第一原子力発電所の被害は、放射能の拡散とともに、未だ予断を許さない状況が続いております。本県の被害も大きく、西部図書館でも、開架、書庫等の資料の落下や建物の一部破損などの被害を受けました。幸い人的被害がなかったことから、復旧作業も迅速に行うことが出来ました。この震災を教訓とし、今後の災害が起きた場合に備え、当館では、利用者の皆様の安全確保に努めるべく、これまでなかった大規模地震を想定した訓練などを実施してまいりました。また、当館主催の県内公共図書館職員を対象とした研修会においても、被災地におもむき、被災した図書館を支援するボランティア活動をテーマとし、支援活動の在り方を学ぶなどの活動も行っていました。

さらに、利用者の皆様が、災害に備え、地震や津波から身を守るために、緊急展示「地震・津波に関する本」、展示「放射線・原子力に関する展示」、＜企画展示 東日本大震災から1年＞「東日本大震災を振り返り、地震・津波に備える」などを通して、災害対応への啓発活動を行ってまいりました。

当館では、今後も引き続き、起こり得る災害に備えた情報提供の場としての役割を果たすとともに、県民の皆様の多様なニーズに応えることができるよう一層のサービス向上に努めてまいります。

当館では、市町村で整備しにくい自然科学、技術分野の資料や各種雑誌など多数取りそろえております。また、文部科学省の図書館海援隊事業への参加など、暮らしに役立つサービスの一環として、幅広い年齢層に応じた就職・雇用関連セミナーなども実施しております。

本年は、当館開館25周年の節目の年でもあります。今後とも、当館の一層のご利用をお待ち申し上げます。

千葉県立西部図書館 館長 江澤 義夫

蔵書点検って何？

千葉県立図書館では年に2回、特別整理期間として休館し、蔵書点検を実施しています。9日間にわたる休館の間、職員は綿密なスケジュールのもと、通常業務とは異なる作業を行っています。



蔵書点検とは

図書館で所蔵している資料が、無くなっていないか、また正しい場所にきちんと並べられているかを確認する作業です。開架から書庫まで全ての棚を確認するため、休館して、貸出・返却もストップし、職員全員で作業にあたります。

蔵書点検の作業は大きく分けて、以下の2つがあります。

1 照合

西部図書館には、およそ開架7万冊・書庫18万冊の資料があり、資料に貼ってあるバーコードを携帯型の端末で1冊ずつ読み取ります。

読み取ったデータとパソコンのデータを突き合わせると、どの資料が行方不明になっているかが分かりますので、職員で図書館内をくまなく探します。それでも見つからなかった資料が不明資料となります。



2 書架整理

図書を請求記号どおりに正しい場所に並べ直します。

通常開館中でも、毎日書架は整理していますが、蔵書点検時は、開架だけでなく書庫の書架も整理します。

また、資料が増えて一杯になった棚は、資料をずらして、スペースを確保したり、利用の少ない資料を書庫に入れたりして、新刊のためのスペースを確保します。

整理中に見つかった、補修が必要な資料の修理も行います。

データ上は棚にあるはずなのに、実際にその場所に行ってみたら探している本がなかった、という経験をされた方もおられるかもしれません。そういった不都合を皆様におかけしないためにも、蔵書点検は図書館にとってはなくてはならないものです。休館になり不便だとお感じになられる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご理解くださるようお願いいたします。

平成23年度春季蔵書点検結果 (平成24年2月27日～3月6日)

- ・不明本 9冊
- ・修理本 26冊
- ・加除式資料を書庫に入れ、4分類の書架を広げました。

教えて！レファレンス



JIS規格の「Z 0302:55 防水包装 (ICS 55.020; 77.060)」が見たい。

JIS (=Japanese Industrial Standards、日本工業規格) とは、工業標準化法によって制定される鉱工業製品に関する国の規格です。各規格にはそれぞれJIS規格番号がつけられています。

Z 0302:55	防水包装 (ICS 55.020; 77.060)
↑ JIS規格番号	↑ JIS規格名称

1 『JISハンドブック』で調べる

毎年出版される『JISハンドブック』(日本規格協会/編集・発行)には、主要なJISが収録されています。西部図書館では1982年版から所蔵しています。

- ①まず、『JISハンドブック JIS総目録 2011』[請求記号 50913/1/11-0]で、収録の有無や収録ハンドブック名を調べます。
- ②JIS規格番号がわかっているので、目次の「Z 0302:55」を見ると、『JISハンドブック 包装 2011』[請求記号 50913/1/11-63]に載っていることがわかります。
- ③『JISハンドブック 包装 2011』の目次を見ると、p961に「防水包装 (ICS 55.020; 77.060)」の内容が掲載されています。



*JIS規格番号がわからない場合には、「JIS総目録」巻末の索引で規格名称から探すことができます。
*JISハンドブックには、すべてのJIS規格が掲載されているわけではなく、抜粋や省略の場合もあります。

2 インターネットで調べる

「日本工業標準調査会 (JISC)」のホームページ(<http://www.jisc.go.jp/index.html>)では、「JIS検索」で、現行規格をPDF形式で閲覧できます。『JISハンドブック』に掲載されていない規格でも、こちらで探すことができます。ただし、プリントアウトやダウンロードはできません。

規格番号、規格名称、JIS規格に使用されている単語からも検索できます。

*詳しい調べ方は、調べ方案内「JISを調べる」をご覧ください。

館内でチラシを配布しているほか、千葉県立図書館ホームページにも掲載しています。

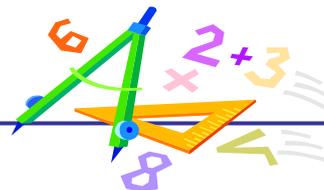
千葉県立図書館の今後の在り方について



- 1 千葉県教育委員会では、県立図書館サービスの在り方を示した「千葉県立図書館基本構想」が平成6年の策定から17年が経過し、図書館に求められる役割が大きく変化していることから、国の図書館政策の動向や千葉県教育振興基本計画、千葉県生涯学習審議会での審議、パブリックコメントの意見等を踏まえ、「千葉県立図書館の今後の在り方」を平成23年12月に策定しました。
- 2 基本理念では、社会の変化に迅速・的確に対応するため、県立中央・西部・東部図書館の3館が密接に連携し、機能強化を図るとともに、図書館ネットワークの中核として、県民の身近な市町村立図書館の充実・振興に向けた積極的な支援に努めることとし、①「読書県『ちば』」を実現する図書館、②県民の役に立つ図書館、③「ちば文化」を創造する図書館の3つを目指す姿として掲げています。
- 3 また、基本理念を実現するための県立図書館の役割と機能として、①「市町村立図書館充実のための支援強化」、②「未来を担う子どもの読書活動の推進」、③「県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及」、④「千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承」、⑤「社会の変化に対応した図書館サービスの推進」の5つを掲げ、様々な取組を進めることとしています。

全文：<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/iken/2011/documents/arikata.pdf>

西部図書館からのお知らせ



○西部図書館 展示のお知らせ

現在、西部図書館では、「和算 ー江戸時代の数学ー」の展示（3月17日～6月14日まで）を行っています。幕末・明治になって西洋から入ってきた数学（洋算）と区別するためにつけられた言葉で、一般には江戸時代を中心に日本で独自の発達を遂げた数学のことを指します。和算の最大流派「関流」の始祖でもあり、「算聖」とも呼ばれた「関孝和」を取り上げた小説『天地明察』がベストセラーになるなど、近年「日本文化としての和算」に注目が集まっています。

○西部図書館 開館25周年について

今年の7月1日（日）に西部図書館は、開館25周年を迎えます。これも皆様のお力添えの賜と感謝申し上げます。7月を中心に開館25周年関連行事や企画展示も予定しております。

編集後記

陰暦三月の異称を「弥生」と言いますが、「弥」は、いよいよ、ますますの意を表し、「生」は、草木が芽吹くことを表します。すっかり春めいた時期となりました。心地よい春風に誘われて、素敵な一冊との出会いが待っています。

West Library 千葉県立西部図書館だより

発行日：平成24年3月20日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN:0918-7383